



特集

「小学生と福祉施設等との
交流プログラム モデル事業」

ボランティア探訪

社協の取り組み

若い世代を地域福祉の学びの場、
実践の場につなぐ

〜かほく市社会福祉協議会〜

かほく市社会福祉協議会では、平成29年度に中学生対象のジュニアボランティアサークルをかほく市内全3中学校に設立し、ボランティア活動を通じた地域とのつながりの機会をもてるよう環境を整えました。

中学生が地域の様々な年代の方々といふれあうことで、地域に目を向け地域を知り、少しずつではありますが新たなつながりが生まれはじめています。中学生だけではなく、関わりを持った地域住民にも中学生に対する意識の変化があったようです。

まだまだ手探りで進めている現状ですが、今後は中学生自身が地域の課題を見つけ、考え、行動できるように、子どもたちの活動を支えてくれている地域サポーターの方たちと一緒にサポートをしていきたいと考えています。



▶ 民生委員（地域サポーター）と一緒に一人暮らしのお宅へ月1回訪問



▶ 3サークル合同研修会（河北ロータリークラブ共催）ボランティアの国際交流

学生の取り組み

地域社会との Interaction をめざして
〜金沢星稷大学人間科学部池田ゼミナール〜

「野外教育・地域ボランティアの視点から地域を元気にする！」をテーマに地域特性を活かした課題解決に向けて学びながら社会貢献活動に積極的・継続的に取り組んでいます。

5月の「グリーン・ビーチいしかわinかなざわ」、6月の金沢百万石まつりでの「街頭清掃活動」・「J-Tひろえば街が好きになる運動」また、大学近隣の夕日寺地区でも金沢市立夕日寺小学校、夕日寺環境学習塾と連携・協力し、地域の子どものための環境・ふるさと教育をサポートしています。加えて、石川県警察本部少年サポートセンター「立ち直り支援活動」や地域の防犯活動についても継続的に参画しています。2018年度「ふるさと石川環境保全功労者表彰」、2019年度「石川県健民運動青少年ボランティア賞」を受賞いたしました。

今後「地域が教室・研究室」とし、地域の皆様に深く感謝をしながら大学生の若い力で元気で笑顔が絶えない地域貢献活動をめざしていきたいと思えます。



▶ 「いしかわ環境フェア 2018」での学生の様子（石川県産業展示館第4号館 担当ラース）



▶ 「青少年犯罪被害防止キャンペーン」での学生の様子（金沢星稷大学学内）

企業の取り組み

「フランス料理を通じた社会貢献活動」
〜日本エスコワイエ協会〜

平成30年9月19日(木)にANAクラウンプラザホテル金沢で「ホテルでフランス料理を楽しむ社会福祉食事会」が開催されました。この食事を主催された日本エスコワイエ協会は、フランス料理に携わる料理長が中心となつて組織する一般社団法人で、フランス料理を通じた社会貢献活動を行っています。

当日は、50名のお身体の不自由な方々とその介助者のみなさんが集まり、フランス料理フルコースに舌鼓をうちながら、会話を楽しんでいました。参加者のみなさんから「普段、来る機会が少ないホテルで楽しい時間を過ごさせてもらいました。」「シェフの方々がテーブルで一緒に食事をしてくださり、材料や料理方法なども教えていただき、さらに美味しさが増しました。」などのお声がありました。日本エスコワイエ協会理事でANAクラウンプラザホテル金沢の小石洋食調理長は「みなさんに快適な時間を過ごしてもらえよう、気持ちを込めて料理を作り、サービスをさせていただきますました。参加者の方から『おいしかった、ありがとう』『楽しかった』とお声をいただけて、明日からの仕事の励みになります。」と話されていました。



▶ シェフの方々と共にフルコースを堪能しました

特集 「小学生と福祉施設等との交流プログラム モデル事業」

地域の中にある様々な排除や差別、貧困等の問題の表面化により、様々な違いを持つ人同士が同じ地域で共に生きる力を育む福祉教育の重要性が益々高まっています。本会では、小・中学生への福祉教育の一環として、福祉施設との交流授業の企画立案や、その実践の質をさらに高める一助としていただくことを目的に、昨年度、「小学生と福祉施設等との交流プログラム」を作成し、県内小学校、社会福祉施設等に配布しました。

羽昨市社会福祉協議会が中心となり、羽昨市立瑞穂小学校、羽昨市立西北台小学校においてモデル事業を実施しましたので、今回はその概要を報告します。

「小学生と福祉施設等との交流プログラム」

モデル事業を実施して

羽昨市社会福祉協議会 中橋 智美

はじめに 福祉学習の推進

生活用車いすや障がい者スポーツの体験を通し、障がいの有無に関わらず誰にでもいろんな可能性があることを知る。また、理解し、障がいがあることは『かわいそう、不便』ではなく、他の人を想い、気に掛けることが大切であることを学ぶ機会となることを願いました。障がいを知るには、話を聞くことも大切ですが、実際に当事者と交流し、同じ時間を過ごす経験をすることで、色あせにくい記憶として子どもたちの中に残してほしい。更に、ご協力いただく講師、地元ボランティアの方々の生きがい（やりがい）となる

ように取り組みました。

学校、施設との打合せ

学校、施設の希望内容を確認するため、事前打合せを念入りに行い、次の点について共通理解を得ました。

- ・ 各自の役割分担を明確にする。
- ・ 各校とも4年生の総合学習の時間で実施。

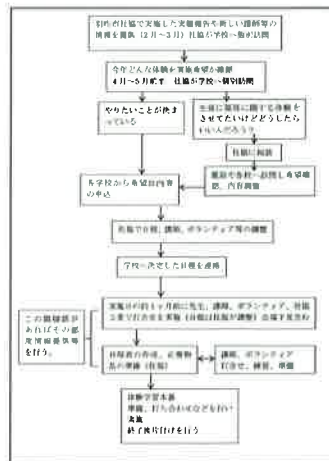
体験学習では講師以外に、地元ボランティアの方々にもご協力いただく。

・ 日程 10月29日 体験学習

(AM: 西北台小学校)

(PM: 瑞穂小学校)

11月27日 福祉施設との交流 (瑞穂小学校・介護老人保健施設白鳥苑)
12月11日 福祉施設との交流 (西北台小学校・住宅型有料老人ホーム能登和楽の里)



体験学習(10月29日) 講師との出会いから

利用者の方々から車いすで生活されている高齢者施設との交流に当たり、事前学習として生活車いす体験や普段の生活についての講話などを2校で実施しました。講師として、「石川県車椅子バスケットボールクラブ」の「Tanaka 石川」に所属する岩崎大輔氏と北風大雅氏にお越しいただきました。体験学習以外の時間も、講師とのふれあいの時間を持てるよう、講師には早めに学校に入っていました。

生活用の車いす体験は2校とも、体験用に作られたコースではなく、日頃使用している学校のいつもの場所で、車いすでの目線が変わったら見える景色はどのように変化するのかを体感し



瑞穂小学校：フロアマットで段差体験



西北台小学校：車いすバスケット体験



瑞穂小学校：車いすバスケット体験

時間	内容	備考
13:20	福祉施設・講師、福祉士の打ち合わせ	
13:30	ボランティア到着、打ち合わせ、講師コースセンターングをし、車いすに乗りこむボランティア	
13:50	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
13:55	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:10	車いす体験(10分)	体験
14:15	車いす体験(10分)	体験
14:20	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:25	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:30	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:35	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:40	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:45	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:50	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
14:55	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
15:00	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
15:05	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
15:10	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
15:15	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話
15:20	講話(岩崎大雅氏、北風大雅氏)	講話

ました。児童から「普段あまり気にしないマットの上を車いすで通ると、すごく大きな段差に思えた。」「テレビで車いすバスケットを見たことがありますが、でも、普通の車いすとちがうとは思いませんでした。」などの感想がありました。今回の体験学習を通し、普段は気にならないものに気づく体験になりました。

福祉施設との交流

○11月27日 瑞穂小学校

(介護老人保健施設白鳥苑を訪問、交流)

ミュージカルや歌を披露し、利用者の方とは肩もみを通して交流しました。利用者の方は子どもたちのはつらつとした演技に明るい笑顔を見せていました。肩もみ交流では、児童が終わりを告げると手を上げ「もう一回」と要望する場面もありました。

今回、2名の先生が関わってくれました。連絡調整や準備に関してはこちらで福祉施設との交流経験のある先生が担当し、担任の先生と役割分担がされていました。

【当日日程】	時間	内容	備考
14:10	瑞穂小学校出陣(バス2台)		
14:20	白鳥苑到着		
14:30	ミュージカル披露 利用者さんへ肩もみ交流 教職員 お別れの歌いさつ		
15:00	終了		

【瑞穂小学校で準備】
ミュージカル用小道具(一輪車、ぞうのハネル他)、CD、ラジカセ、音響



瑞穂小学校：白鳥苑でミュージカル披露



瑞穂小学校：白鳥苑で肩もみ交流

○12月11日 西北台小学校

(住宅型有料老人ホーム能登和楽の里を訪問、交流)

小学校の希望で折り紙リース作りと風船送りゲームで交流しました。小学校の方で折り紙リースのパーツ一部や飾りのイラスト作成などの作業を事前に行いました。児童より利用者数の方が多く人数分用意するのに苦慮されたとのこと。しかし、当日は教えたり、教えてもらったりしながら進み自然と会話ができました。

ゲームは利用者と児童の混合チームで風船送りをしました。一緒に協力して1つの事を行うことで一体感が生まれました。



西北台小学校：能登和楽の里、利用者の方と風船送りゲーム



西北台小学校：能登和楽の里、利用者の方と一緒に折り紙でクリスマスリース作り

【当日日程】	時間	内容	備考
9:30	西北台中学校出陣(歩いて行く)		9:25学校に到着を兼ねて行く
9:45	和楽の里到着		行く(目標)
10:00	あいさつ・プログラム説明(児童)		
10:05	リース作り説明(児童)		
10:35	ゲーム(リース作り)披露		混合のチームを2チーム作る
10:50	手話ソング披露(児童)		
		お別れの歌いさつ(児童)	
		終了	

【和楽の里で準備】市ワイトボード
【西北台中学校で準備】折紙リース、リースに付ける手書きの飾り、プログラム表、にじいろのCD
児童の交際誌(持参)
【岩手市社会福祉協議会で準備】CDラジカセ、クリスマスソングのCD、スピーカー、マイク、風船、ポンプ
風船(赤、緑、黄、青)(手裏)、スティックのり、デジタルカメラ、延長コード
【事前に西北台中学校に持参】
名札ケース(20個)、ひも(20~30cm×36人分)
【和楽の里で準備】1名

今回の取組を振り返って アンケートから

○打合せや調整等の事務面

・特に問題は感じなかった。(瑞穂小学校)

・担当の先生が日中は授業でないため、直接連絡が取りづらかった。(白鳥苑)

・日時等の調整を社協が間に入ってくれたので助かりました。(西北台小学校)

○準備で苦労した点

・担任は初めて行く施設だったので会場の広さ、利用者の並び方がわからず不安だった。写真などがあればもう少し見通しが持てると思えました。(瑞穂小学校)

・時期的に、風邪、ノロウイルス等の流行が心配だった。今回は、何回か来てくれていた先生が担当だったので電話の打ち合わせだけであった。しかし、初めての先生の場合は実際の会場で動きなどの打ち合わせをしたい。(白鳥苑)

○時間配分について

・利用者さんが多くいたので肩たたきや握手に時間がかかった。(瑞穂

小学校)
・午後のレクリエーションの時間に30分程度お願いした。(白鳥苑)
・ちょうどよい時間配分でした。(西北台小学校)
・ちょうどよい時間だったと思う。(和楽の里)

学校からは、「福祉を学び体験する時間を持ちたいがどのようにすればいいのか分からない」「施設や講師を探し、プログラムを組むには時間がかかる」、また施設からは、「学校に来てほしいと思ってもどこに連絡していいか分からない」といったお声を耳にします。

今回浮かび上がった反省点を踏まえ、規模や地域性、社会資源などを考慮し、今後も学校と施設をつなぐお手伝いができるよう取り組んでいきます。

紙幅の関係で全てを網羅できず概要の一部をご報告いただきました。詳細をお知りになりたい場合は、本会もしくは岩手市社会福祉協議会までお問い合わせください。

本会では「小学生と福祉施設等との交流プログラム」の普及を図ることを目的に、平成31年度もモデル事業を実施します。モデル事業の実施を希望される小学校がございましたらお近くの社会福祉協議会にお問い合わせください。

ボランティアネットにユーザー登録されている 福祉施設・団体の皆様へ

掲載中のボランティア募集情報 更新のお願い

日頃より、ボランティアネットをご利用いただきありがとうございます。ボランティアネットでは、最新のボランティア情報を県民の皆様にお届けできるよう努めています。

情報を掲載いただいている施設・団体の皆様には、お手数をおかけいたしますが、下記の**確認方法**により、情報の修正・削除がないかご確認をお願いします。



確認方法

手順① 「施設者管理画面」 (<https://www.isk-shakyo.or.jp/vm-admin/>) よりログイン
※施設者管理画面ログインにはユーザー名・パスワードが必要です。

ユーザー名・パスワードをお忘れの場合は、石川県社協ボランティアセンター（ページ下部記載）までご連絡ください。

手順② ボランティア募集管理の「募集一覧」をクリック

手順③ 「表示状態」の「掲載中の募集のみ表示」にチェックし検索

手順④ 表示された情報の「詳細」をクリックし内容を確認。

手順⑤

【情報を削除する場合】

県社協ボランティアセンターまで連絡
(本会で削除させていただきます)

【新たに情報を掲載する場合】

「追加」または「引用」ボタンより、
情報を入力し、登録する。
(本会で登録内容を確認し、承認したあと、ボランティアネットへ掲載されます)

【掲載情報を修正する場合】

- ① 「詳細」ボタンより、掲載中の情報を印刷し、修正を書き込みした上で、県社協ボランティアセンターへFAX
- ② 県社協ボランティアセンターへ電話連絡

〈平成31年度ボランティア保険の加入を受け付けています〉

平成30年度のボランティア活動保険は3月31日をもって終了しました。引き続き活動をする際は保険の更新が必要です。

〔補償内容・保険料〕

	プラン	Aプラン	Bプラン
保 険 料	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ	500円	710円
補償金額	死亡	1,040万円	1,400万円
	後遺障害	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院日額	6,500円	10,000円
	手術(入院中)	65,000円	100,000円
	手術(外来)	32,500円	50,000円
	通院日額	4,000円	6,000円
	賠償責任 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	

加入手続きはお住まいの市町社会福祉協議会、または石川県社会福祉協議会で行っています。安心してボランティア活動を行うためにも、ボランティア保険に加入しましょう！

ご寄贈をありがとうございました (平成30年度)

(使用済みインクカートリッジ、使用済み切手・カード、未使用切手、ペットボトルキャップ)

いしかわ在宅支援ネット、小松バス(株)、(株)ジェイアールサービスネット金沢、(株)ジャパンエンタープライズ、(株)北陸銀行(泉野支店、金沢南中央支店、野町出張所、光が丘支店)、特別養護老人ホーム福寿園、PEAP DESIGN、七尾市社会福祉協議会、羽咋市社会福祉協議会、白山市社会福祉協議会、輪島市社会福祉協議会、個人の皆様 (50音順)

ボランティア活動 振興基金の状況

- 基金現残高
397,480,880円 平成31年1月末現在
- 内訳 (民間寄付金 197,480,880円)
(県補助金 200,000,000円)
- 基金利息見込額(平成30年度)
約6,079,000円

こんなとき こんなお金を

企業の社会貢献として
祝いごと、香典返しの一部を
企業・商店・各団体の開設、創立記念として
お買物のおつり、おこづかいの残りを
お給料から毎月コツコツと

※ボランティア活動振興基金へのご寄付は税控除の対象となります。

ご寄付をありがとうございました (H30.12 ~ H31.3)

ふれあいFund(PFU労働組合)、大生食品工業(株)
PHU東日本社員会